

令和7年 1月 22日

別府大学 学生の皆様へ

別府大学

学長 友永 植

学生代表との点検・評価会議及び授業改善を図るための会議を終えて（ご報告）

別府大学における3ポリシー（卒業の認定に関する方針（DP）、教育課程の編成及び実施に関する方針（CP）及び入学者の受入れに関する方針（AP）を踏まえた取組に関し、その適切性について学生の代表の皆様から意見をいただき、教員との意見交換を下記の通り実施しました。また、その後、引き続いて、授業改善に役立てるため、学生の代表の皆様（前述と同じ学生）から意見をいただき、教員等との意見交換を実施しましたので、主な意見及び改善に向けての取組を報告します。

なお、今後とも学生の皆様から意見をいただき、授業改善等に取り組んで参りますので、協力方よろしくお願い致します。

記

1. 学生の代表者との点検・評価会議

日時 令和6年9月26日(木) 15時～

場所 1号館 21・22 教室

2. 学生代表者との授業改善を図るためのFD

日時 令和6年9月26日(木)学生との点検・評価会議終了後

場所 1号館 21・22 教室

3. 学生出席者

12名（氏名は、省略）

4. 教職員出席者

学長、学長補佐（教務担当・学生担当・就職担当・入試担当）、学部長（文学部長・食物栄養科学部長・国際経営学部長）、大学事務局長、短大事務局長、学生事務部長、事務局職員（4名） 計15名

以上

令和 6 年度学生との点検・評価会議及び 授業改善を図るための学生参画会議における 「主な意見と大学の対応」

令和 6 年 9 月 26 日実施

	学生の要望・意見	大学の対応
1	プールはもう使用しないのか。	初等教育科の小学校課程の採用試験にプールの実技が必要であったが今は必要ではなくなったため使用しなくなった。 また耐震補強上の課題もあり現在は使用していない。施設は取り壊しを含め、検討中である。
2	車いす学生用の移動式机が車いすに乗ったままだと足が入らないため調節できるような机にしてほしい。	対象の学生と相談の上、早急に机の整備を行う。
3	椅子のネジ・ボルトが外れていて危ない状態になっているので修理してほしい。	点検・修理を早急に行う。 もし今後発見した場合は、大学事務局に報告してほしい。
4	トイレの荷物掛けの高さが高く、荷物を掛けられない。	調整をしてつけられるように手配する。
5	32 号館と 34 号館の渡り廊下が鉄扉の開き戸となっていて開ける際に危ないため張り紙等で注意を促してほしい。	鉄扉の両側に注意喚起の張り紙を貼ることで対処する。
6	IL2 教室の PC の動きが悪く、データが消えることがある。また使用できないパソコンが多く、隣同士で一緒に作業が出来ない。	現在 IL 教室の PC は主に文学部の国際言語・文化学科対象の授業で使用されているが、いずれ停止にするように予定している。 大学全体としては BYOD（私的に PC を持ち込む）を前提としている。IL の教室もパソコンが古くなっているため、Adobe 等アカデミックのライセンスを学生自身が手に入るよう対応していく方向で学科とも調整をしていく。
7	教室によってコンセントがないところがあり、延長コードはあるが、机の端に座らないと使えないので改善してほしい。	2 年前に各教室にコンセントを 2 本ずつ付けた。 その後学生に度々、状況を聞いたが、特に不便な教室の意見はなかった。 どこかの教室で不足しているということであれば教えてほしい。

8	剣道部に所属しているが、中学、高校と一緒に練習をしているため武道館が狭く感じる。	第2 武道館を建てられれば一番良いが、費用がかかることなので、法人と相談したい。体育館は他のサークルとの兼ね合いもあるので体育場所の確保ということではすぐの対応は難しい。学生の皆さんが満足に練習を行うことができ、かつ怪我や事故がないように配慮したい。
9	集中講義の取り消し期間が掲示板のみとなっているためポータルやメールでお知らせをしてほしい。	学内の連絡事項は掲示及び在学生ポータルサイト等で周知を行っているが、集中講義の取消・追加に関しては、ポータルからは漏れていた可能性があるため、確認し、ポータル等で周知を行う。
10	ラーニング・コモンズの自習スペースを増やしてほしい。	学生ホールや空き教室を活用してほしい。
11	33号館のWi-Fiの強度が弱く、3階で作業中に切れてしまことがあるので強度を強くしてほしい。	繋がりにくい場所があればメディアセンターに相談してほしい。
12	先生のノートパソコンが古くプロジェクターのタイプが合わなく授業の進行度が落ちているので見直してほしい。	大学の貸し出し用パソコンは、随時新規購入しているが、予算的な問題もあり、教員の私物も含め全ての対応は困難である。授業に支障が出ないように工夫する。
13	図書館にある問題集等を持ち帰って勉強したいが、禁帯出になっている本があり、持ち帰って勉強できない。	問題集等は多くの学生が使用するため禁帯出となっているが、冊数を増やせるか検討する。
14	moodleの更新が遅く、提出期限の1時間前に提出ボックスが出現する先生がいるため早くしてほしい。	moodleの更新が遅いという意見があったことを会議で伝えて周知する。
15	研究室を決める時期になってきたが、後任の先生が決まっていないため研究室に行けない状況になっている。	現在、公募をかけているので来年度からは、学生の期待に添えるように働きかけたい。

16	moodle の授業で URL が送られてこないことがあり、20 分後に送られてきて授業の開始が遅くなった。	moodle のアナウンス機能を使って送ると時間が経ってから送られるため、それが原因かもしれない。また、教員がメッセージを送っても送られていないケースもあるためメディアセンターが調査を行っている。
17	就活が不安でキャリア支援センターを利用したいが、満足度調査でも 50%は利用していない状況となっている。もっと利用しやすいようにしてほしい。 教務課で履修取消をできる職員とできない職員がいて対応が違うことがある。	キャリア支援センターは 1 年生から利用できるため利用をしてもらいたい。また面談の予約を大学 HP(ホームページ)からできるようになったので申込をしてほしい。 履修取消だけでなく、全ての窓口業務について対応に差異がないよう心がけているが、今後はさらに周知徹底を図り、より一貫したサービスを提供できるよう努めていく。
18	キャリア教育の授業を 1 年生の時に履修したが、先輩方の体験談が少なかったためインターンシップにどのようにして行けばいいのか、どのように就職活動をしているのか等の疑問が生まれてきている。	昨年担当した教員は退職をしているため、昨年度の対応と差が生まれてしまった可能性がある。新たに担当となった教員にはそのことを伝える。各学科の学生が自分の将来を思い描くことができるようにキャリア教育の内容を改善していきたい。
19	発酵食品学科は成績分布が AA や A 評価に偏っている印象を受けたので、理由があれば教えてほしい。	全体的な傾向として、評価は実習（実験）が高く、次いで演習、講義の順になっている。発酵食品学科は実習（実験）が多い為、AA や A 評価が多かった可能性がある。
20	発表の機会や時間を増やして、より多くの学生が経験を積めるようにしてほしい。	今までも各学科の演習系の授業にて、プレゼンテーションの機会は多く設定されていたと思うが、これまで以上にプレゼンテーションを積極的に行う機会を増やすことを検討する。
21	教科書を購入させながら、授業の中でほとんど使用しない先生がいる（特に食物栄養学科）。教科書をほとんど使わないため、本当に教科書や国家試験の内容に沿って役立って授業をしてくれているのか不安になってしまうので、改善していただけたらありがたい。	購入させた教科書の使用については、先生方に会議等にて注意喚起を行う。また国家試験では標準的な知識が必要になってくるので、教科書をベースにした授業が望ましいと思う。ただ、新しい分野等の教科書を超えた内容を扱うということはどうしても出てくる可能性はある。

22	授業中に板書・スライドの写真撮影や録音をする学生がいる。特に撮影の際、学生が映りこむのではないかと懸念される場合がある。また、シャッター音が集中の妨げとなる場合もあるので、学生へ向けてシャッター音を消すよう注意喚起をしてほしい。	まず、授業中に写真撮影をする学生には、大きく分けて2種類の学生がいる。1つは合理的配慮が必要な学生、もう1つは、一般の学生である。前者は、何らかの事情でメモやノートを取れない学生で、学生事務部から写真撮影の許可をもらっている場合がある。そのことは、授業を担当する教員には、伝えられているのでご理解いただきたい。ただ現状該当する学生に対して、教職員から注意喚起や周知を行うことは、プライバシー保護の観点から、非常に難しい。また、後者の一般の学生に関しては、何らかの指導を検討したい。
23	シラバスや授業で挙げられている参考図書の値段が高いと感じている。特に、概論レベルの授業では可能な限り、新書等のお手軽で読みやすい本にしてほしい。	専門書については、雑誌等と異なり値段が高い場合があるので、導入のハードルが高い点は理解してほしい。授業担当教員には、できるだけ値段の安価な新書等を利用するなどの検討を依頼する。
24	食物栄養学科の授業で「〇〇学」という科目があるが、単位修得率や評価が他の食物栄養学科の科目に比べて極端に低い。管理栄養士の国家試験の中でも、問題数が多いわけでもないのに、学生にとって単位が取りにくい状況になっているのか、教えてほしい。	学科内の教職員との話し合いで、成績評価の平準化(極端に単位が取りやすい、取りにくいという科目を無くす)の動きは続けており、少しずつ改善はされているが、まだ改善が追い付いていない科目もあるので、この動きを継続していくよう会議で提案し、共通認識を深めていきたい。
25	他の大学と比較して、別府大学は非常に単位が取りやすい大学と感じている。別府大学の科目の難易度や GPA の基準値の設定はどのように決めているのか。	教養か専門かの科目のカテゴリーによって、単位取得の難易度は変わってくる。学科ごとの GPA の基準値については議論している最中である。平準化した方がいいという意見と学科ごとの特徴を生かした基準にした方がいいのか、意見が分かれている。今後も引き続き検討を行っていく。

26	国際経営学科で昨年受講した科目で、半分以上の方が不合格になった科目がある。今年度退職されている先生が担当されていた科目の為、再履修もできない。もし可能であれば、成績評価を回復する何らかの措置を取っていただきたい。	科目「〇〇」については、イレギュラーな方法で成績評価が行われたということは把握している。 同科目の今後の開講については、現状では、講義を担当する教員がいないため、講義再開のめどは立っていない。来年度の開講科目の議論の中で同科目の扱いを検討する。
27	1年の後期に「数理・データサイエンス入門」の授業でPythonというプログラミング言語を学んだが、日常的にプログラミングを行う機会がなかったため、多くの知識が抜けてしまった可能性がある。知識の定着・復習の為にも継続的に確認できる講義資料をmoodle等に公開してほしい。	Moodle等で資料の公開を検討していく予定である。他のデータサイエンス系の授業も検討していく。
28	デジタル学生証を在学生ポータルから出せるようにしてほしい。図書館で本を借りるときやマメッピによる出席を取る際に学生証がないと困るのでそういう時に困らないようにデジタル学生証が必要だと思う。	技術的な問題等があるので、実現できるかどうか、前向きに研究課題とさせていただきたい。
29	新しいバージョンのmoodleの授業のコースの探し方が難しい。似たような名前のコースがあり、探すのに時間がかかるので改善してほしい。自分が登録しているコースのみ表示する機能が昨年までのmoodleには付いていたが、それが今もあるのか教えてほしい。	自分が登録しているコースのみ表示する機能は、新しいバージョンのmoodleにも付いているが、視認性の面では問題があるということは把握しているので、それを解消する方法については積極的に情報提供を行っていききたい。
30	「意見箱」と呼ばれる意見回収ボックスがキャンパスの各所に置かれているが、どこかの部署が回収・回答を行っているのか。特に先に述べた「〇〇学」の授業改善について、同級生が入れた意見が届いているのか知りたい。	定期的に学生事務部の方で回収をし、改善を各部署に働きかけている。具体的な改善内容については、後で確認してみないと分からない。改善内容については、掲示板にて回答・周知を行うケースが多い。ただ、前期は「意見箱」に入っていた意見が少なかった。「〇〇学」の授業改善については、学部長まで意見は届いている。これから対応・検討を行っていく予定である。

31	教職課程の授業にて出欠確認の際に、教職課程を辞退した学生の名前が授業中に読み上げられる場合が多い。教職課程を辞退した学生は出欠名簿から消してほしい。	教職課程にそのような事態になっている旨を伝えることとする。
32	教職カルテが今回紙から Web(学生ポータル上で入力)の形に変わったが、入力作業でエラーが出たりして、うまく入力作業が進まない。特に操作ミスや入力時間の制限等でエラーに終わってしまうケースが多いので、改善してほしい。	今年度から導入したこともあり、迷惑をかけている。今回のエラー等について改善に努める。
33	期末テストの不正行為（カンニング）が目立つ。巧妙にカンニングを行っている場合が多いので、監視カメラの設置等を検討してほしい。	期末テストの不正行為については、今年の前期末に一件摘発事例があり、教務委員会へ会議に諮ったうえで、前期の履修登録科目を全て取り消すという措置を取った。不正行為の監視体制だが、基本的には1つの筆記試験につき、担当教員のみで行っているため、受講者数が多い授業は不正行為が起りやすくなっている。少なくとも学生の目から見てあからさまな不正行為は防がなくてはならないということは把握しているので、改善を検討していく予定である。
34	駐車場の出入り口が学生のたまり場になり、学生の喫煙の場にもなっている。また車両（特に自転車）の放置や出口・入口を間違えて出入りし、駐輪場内で逆走等を行う学生がいるので、その対策を考えていただきたい。	駐輪場のマナーについて、自転車を車輪止めに合わせて駐輪していない学生がいることは把握しているが、基本的には、学生のモラルを信用し、張り紙等で注意喚起は行っていない。 出口・入口を間違え逆走する件に関しては、事故を起こす懸念もあるので、学生へ向けて注意喚起を行っていく予定である。駐輪場が喫煙者のたまり場になっている件については、これまでも学生事務部の職員が見回りを行っているので、これを引き続き継続していく。また、駐輪場付近での喫煙については、警告の看板を設置する予定である。保健室が中心に行っている禁煙教育と喫煙マナーに関する周知も引き続き行っていく予定である。ただこれらに関して

		は、大学としてできることも限界があるので、学生の皆さんにもご協力してほしい。
35	一人で過ごしやすい部屋を作してほしい。 理由としては、図書館の1階でゲームや動画を見ている人がいるため、そのような人達の場所を作してほしい。	図書館内での利用目的やマナーについて再確認し、適切な行動を促すよう指導を強化する。また、大学内の建物に個別ブースを増設することは難しいため、学生ホールやラーニング・コモンズ等の一人で集中して過ごせるエリアの配置を見直し、可能な範囲で静かに過ごせるスペースを確保するよう努める。
36	図書館の蔵書が少ないと感じている。それと当日だけでなく、前日の新聞も1階の新聞を読むスペースに置いてほしい。	蔵書については、購入計画に基づいて購入するようにしている。本学の蔵書数は、図書館収容面積に対して大幅に超過しており、各研究室に分散配置しているため、目当ての本があれば、OPAC（館内蔵書検索）で検索してほしい。 前日の新聞は、2階積層書庫で閲覧できる。場所がわからなければ事務室に聞いてほしい。
37	ラーニング・コモンズや学生ホール、学食の席が少ないので、増やすことを検討してほしい。	動線の確保を含め、これらの施設の座席数を増やすことは困難である。現在、学生ポータルで空き教室を確認できるようにしているので、ラーニング・コモンズを使用できない場合は、空き教室を使ってほしい。
38	教室のスクリーンが見辛い。特に大きな講義教室では、質問する人がほとんどいない為、授業の進行速度も速く、授業理解が難しい。	各教室の広さとスクリーンのサイズについて確認し、問題がある場合はモニターの設置などを検討する。大講義室での授業の場合、担当教員には学生が理解しやすいペースで進めるよう依頼し、また、質問しやすい環境を作るため、授業中に適切なタイミングで質問を促す対応を検討してもらう。
39	32号館と1号館の4階をつなぐ連絡通路にスロープを付けてほしい。	32号館側には既に設置できているが、1号館側には設置することができていない。これは、建物の構造上の問題のためである。32号館側の扉は、引き戸のため、スロープを設置することができたが、1号館側は開き戸になっているため、開いた際、扉とスロープが干渉してしまう。 これからも検討は続けていくが、現時点では改善は厳しいと言わざるを得ない。

40	エアコンの設定温度が寒すぎる場合があるので、何らかの改善をしてほしい。サーキュレーターの使用を検討してほしい。	人によって体感温度の違いや同じ教室内でも場所によって少し温度差があるので、授業担当の教員に相談して温度調整してもらいたい。
41	掲示板に残っている情報が古すぎる場合がある。また新しく追加された掲示でも情報が見つけ辛い。	掲示板については適宜貼り替えを徹底する。また、掲示板や掲示物のレイアウトやデザインを改善し、情報が見つけやすくなるよう工夫する。さらに、掲示板だけでなく、在学生ポータルサイトを活用した情報提供も進める。
42	図書館の利用率が低いと思うので、利用率を高めるイベントを企画すべきだと思う。	学生による選書ツアーの実施などを通じて利用率を高める工夫をしている。 さらに来年度に向けて図書館利用促進のイベント（読書会）を計画中である。
43	数理・データサイエンス・AI 教育プログラムに関わる授業で上の学年になっても、必要となってくる授業は必修にした方が良く感じている。また、授業で Python というプログラミング言語を学んだが、どういう用途で使えるのか説明が欲しい。	現在すでに別府大学では短期大学も含めて全学部全学科に向けて、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」の応用基礎レベルに該当する複数の授業を選択的に受講可能としている。この中でより実践的なプログラム開発などによる課題解決などへの適用を経験できるようにしている。 Python というプログラミング言語は、多岐にわたる分野で役立つ言語である。用途の一つに、AI の構築や機械学習も含まれている。専門的な学びの中で AI の活用に関する話題が一層増えており、そのような機会を生かした専門的な学びに対して、積極的に取り組んでほしい。
44	構内での喫煙場所が欲しい。	構内全面禁煙は2020年4月より実施している。これは学生の意見や社会の状況等を踏まえ、検討を重ねたうえで実施しており、直ちに構内に喫煙場所を再設置するのは不可能である。構内禁煙を求める声がある一方で喫煙場所を設置してほしいという声があることは承知しておく。
45	図書館の本の管理が雑になっていると感じる。既に返却されているのに、貸出状態のままになっている本が多い。 また、図書館の資格対策の本が全般的に古いので、新しい本を増やしてほしい。	事務室に返却された時点で、貸出可となるが、「ブックポスト」に返却された場合はまとめて返却手続きをするので少し遅くなる。 購入希望の本があれば、図書館カウンターの「リクエスト用紙」に記入して事務室に出してほしい。

46	3号館ホールのトイレに害虫が多く発生しているので、対策してほしい。	害虫の種類によって、駆除方法が異なる場合もあるため、その都度対応したい。
47	夏場の体育館は授業や部活で熱中症患者が多く出ているので、エアコンの設置を検討してほしい。	エアコン設置に伴い、電気設備の改修も必要となり、経費の確保が困難である。
48	PC等の機器に慣れていない教員がおり、プロジェクター等を活用できていない状況が発生している。教員同士で使い方のレクチャー講座等を行ってほしい。	学科内でICT活用が苦手な教員については、レクチャーなどのフォローアップを依頼する。ただし、非常勤講師や突発的な動作不良については、教務課が適宜フォローする。授業時間中の場合は、迷惑をおかけすることもあるが、理解をお願いしたい。
49	正門横のごみ置き場の環境が良くない。ゴミが散乱していたり、カラスが寄ってきているのを見かけるので改善してほしい。	生ごみは、扉のついているゴミ置き場に置くよう改めて学内に周知する。
50	35号館にエレベータを付けてほしい。	建物の構造上の問題があり、現状では実現が困難である。
51	学食やキャンパスショップで利用できるクーポン券があったおかげで、食堂の利用が増えた。しかし、クーポンと食券を交換する学生アルバイトがいないと利用ができないといった事態が発生していたため、体制の改善をお願いしたい。	当時配布されたクーポン券は、「新型コロナウイルス感染症対策助成事業（独立行政法人日本学生支援機構）」を活用し、不足分を大学が負担して行ったもので、今後同様の事業を行うことがあるのかはまったくの未定である。意見をもとに、実施の際は体制改善に努める。
52	就職に関する公欠扱いの範囲が狭すぎるため、もっと対象を拡大してほしい。	就職に関する公欠扱いについては慎重に検討している。公欠の扱いとならない就職活動（最終試験ではない試験や会社説明会参加）については、欠席届に試験等の要項を添付し、授業担当教員に提出してほしい。欠席が自動的に出席扱いとされるわけではないが、授業担当教員によっては配慮してくれる場合もある。
53	冬に水道から温かいお湯が出るようにしてもらいたい。	すべての水道から、温かいお湯を出せるようにするのは、建物の構造や予算の関係で対応するのは難しい。暖かい飲み物が欲しいということであれば、学食やキャンパスショップのドリンクサーバーを利用してほしい。
54	授業評価アンケートの自由記述の欄は「改善点」という書き方では答え辛いので、	自由記述欄「良いと思う点：この授業で良いと思う点を教えてください」「改善点：この授業の改善点を教えてください」の後に、以下の自由記述欄をもう一つ加える。「その

	「要望」等の言葉に変えていただけると答えやすくなると思う。	他：この授業に対する意見・要望があれば自由に書いてください」
55	食物栄養学科は教職の科目が5限と土曜に集中しているので、可能であれば集中しすぎないようにしてほしい。	現在、食物栄養学科の管理栄養士養成課程のカリキュラムでは、平日の1限から4限まで授業がほぼ埋まっている状況である。そのため、仮に教職課程の授業を1限から4限に配置した場合、管理栄養士養成課程の授業が5限帯に移動せざるを得ず、学科全体の学生の利便性に影響を及ぼす。このような事情から、現時点では教職課程の授業を主に平日の5限帯等に配置せざるを得ない状況である。教職課程履修者には不便をおかけしてしまい申し訳ないが、学科全体のカリキュラム運営に対する理解をお願いしたい。
56	図書館のトイレが狭いので、広いトイレを作してほしい	建物の構造上新設のトイレを設置することは非常に困難であるため、近くの棟のトイレの利用をお願いしたい。
57	1年次に履修登録の相談ができるピアサポーターの支援制度はありがたかった。4年の就活や大学院進学に向けたイベント（強制力のない）や支援制度も設けてほしい。	就活への支援はキャリア支援センターで4年生からではなく、1年生から行っている。イベントについても学内掲示やメールなどで随時お知らせしている。強制力のないとあるが、最近はイベントに参加する学生が年々減少しており、積極的に参加してほしい。大学院については専門性の高い分野なので、専攻の先生に相談をお願いしたい。
58	データサイエンス系の資格講座があれば検討してほしい。	データサイエンスは分析、統計の知識や高度なプログラミングスキルが求められるので、講座という枠内で資格取得ができるものではないと考えているが、学生に基礎的な知識が備わっており、かつ需要が高く、まとまった人数の参加が見込まれれば検討する。
59	キャンパスショップの商品が高価すぎる。もっと価格を抑えて、在庫や品ぞろえも増やしてほしい。	価格においてはコンビニ形態で運営しているため、販売価格の調整が困難である。ただし、現在、レジにて割引（食品5%、書籍・文具・雑貨10%）の実施と、おつとめ品のディスカウントを実施している。商品点数についてはリクエスト等を伝えてもらえれば可能な限り対応する。
60	教職の授業でもっとICTを活用した授業を展開してほしい。	教職課程において、電子黒板やタブレットを活用した授業の実施を各教員に促す。

61	学生が利用できるモノクロコピー機の使用を無料にしてほしい	運用コストや予算の都合もあり、すぐに無料化を実施することは難しい現状である。無料化の方向性については、引き続き検討を行っていく。
62	奨学金制度をもっと充実させてほしい。	学外の奨学金については、日本学生支援機構のみ説明会を行っている。これは、大学を通して申請しなければならないためであり、そのほかの学外奨学金については、大学に案内があった分については、奨学金の掲示板に掲載しているので、必要に応じて学生課の窓口まで相談してほしい。 学内奨学金については、入学前の試験結果等による別府大学奨学生、入学後の成績優秀者奨学金があるが、予算の関係もあり、拡充する予定はないが、奨学金の拡充については、機会があるごとに提案していきたい。
63	黒板がある教室のチョークが少ない。時計が主要な教室にない等教室に問題がある場合が多い。	大学事務局に補充用チョークを常備している。教員が授業前に補充し、授業に臨むよう促す。 時計については、原則として教室には時計を設置していない。試験の場合は、教員に適宜時間を告げるよう周知する。必要に応じて腕時計を身に付けるなど、対応をお願いしたい。
64	地元企業・組織の経営者を招く講義等では講義終了後、グループディスカッション等の時間を設けていただくと質問が出しやすい。	招聘授業の形式にもよるが、終了後にグループディスカッションの時間を設けることができる場合は、取り入れるよう教員に依頼する。また、時間が取れない場合でも、可能な限り質疑応答の時間を設けるよう検討してもらう。
65	授業評価アンケートでは、学生が求めている授業のモデルが分析されていて意見が良く反映されていると思ったが、具体的な改善点や反映されている授業について学生へ知らせていただけるとありがたい。	学生に対して具体的な改善点や意見をどのように反映したか報告する機会を設ける。報告は、第1回目の授業内で説明することや、moodle上で情報を提供することなどを教員に依頼する。
66	大学事務局の対応が冷たいと感じる。また、キャンパスショップの店員の対応も同様に感じている。	事務職員およびキャンパスショップのスタッフには、学生に対してより親切で丁寧な対応を心掛けるよう、改善に努める。

67	今回の会議（学生代表との点検・評価会議及び授業改善を図るための会議）に留学生も呼んだ方が面白い意見が出ると思うので検討していただきたい。	参加学生は学科から選出されている。過去には留学生が参加したこともあるが、今回は日本人学生だけだった。今後は留学生も含めて学科に選出してもらうようにする。
68	喫煙者を不快に感じる場面がある。特に、近くの席に座った際に匂いが強くて授業に集中できない場合がある。	20歳以上の者の喫煙は違法ではないため、禁煙を強制することは難しい。喫煙マナーについては現在行っている禁煙教育を継続的に続けていく。ただ、喫煙している学生は、匂い等で周りに不快感を与えている場面があることを理解し、自身で行動を見直してほしい。